

平成 27 年 8 月 6 日 00233 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター【弓道情報】夏期特別弓道講習会開催！！

7月30日(木)・31日(金)の2日間にかけて、午前9:00より北見市武道館弓道場・多目的道場を会場に、北見地区夏期特別弓道講習会が北見地区弓道連盟主催により開催され、複数班に別れて講習が行われました。多目的道場に於いて執弓の姿勢・基本の姿勢・基本動作・入退場の講習、弓道場第2射場に於いて本座から射位・脛座・開き足・矢番え動作の講習、弓道場第1射場に於いて的前行射の講習が行われた後、弓道場を全面使用



して射技指導が行われました。2日間で約150名となった中・高校生の受講者は、日頃なかなか指導を仰げない高段位の先生方から、細かな動きや立ち姿・全体のバランスや姿勢の維持などといった基本動作から、射位・射技といった技術的な面

に至るまで指導を受けておりました。受講者の高校生からは「日頃から感覚がなかなか掴めなかった部分を先生に指摘・指導して頂いて、解決できました。普段とは違った先生に指導して頂けるので新鮮さもあり緊張感もありました。私も含めて、各々が確実にレベルアップできたと思います。」と嬉しそうに語っていました。

連載 「武道宝鑑」第3弾 文学博士 鹽谷温 〈文武両道〉

加之孔門の教授細目は六藝である。六藝とは何ぞや。礼・樂・射・御・書・数である。礼・樂は即ち仁を養う所以、射・御は勇を養う所以、書・数は智を養う所以である。これを今日に引き当てれば徳育・体育・知育である。六藝は人格を完成する所以で、誠に至れりつくせりの教育方法で、これを今日の偏文主義、又知育偏重の教育に比すれば優ること萬々である。それを何事ぞ、後世に至り、専ら文を尊んで武を賤む様になった為、國力は衰えて振るわず、外侮を招くようになり、また武が武人の手に落ちたが為、軍閥の跋扈となり、内亂が絶ゆる間がない。清の中行から民国に至る歴史を見れば、思い半ばに過ぐるであろう。今日に在って支那の内亂を鎮定し、積弱の國力を一振するものは撥乱反正の武徳に頼る外われない。抑抑皇朝は武を以て国を建て、尚武は実に我が建国の大精神である。

何を以てかこれをいう。即ち劍は三種の神器の一に居り、天孫降臨の際、天照大神より親しく天孫に賜った所である。神武天皇の中州を戡定したまい、日本武尊の東夷を平定せられ、神功皇后の三韓を征伐せられ、北條時宗の元寇を殲滅せる、豊臣秀吉の明師を撃破せる、皆靈劍の特に頼ったのである。 つづく